

「JFA・キリン 熊本復興応援 サッカー教室」を南阿蘇村立南阿蘇西小学校で開催



キリングroupでは、熊本地震発生後、被災した子どもたちの心と身体の元気をサポートする活動を行っています。その一環として、11月21日から計4回、公益財団法人日本サッカー協会、一般社団法人熊本県サッカー協会と協働で、益城郡益城町と阿蘇郡南阿蘇村の4小学校を対象に、「JFA・キリン 熊本復興応援 サッカー教室」を開催しました。

2016年11月21日（南阿蘇村立南阿蘇西小学校）

心と身体の元気

第1回目となる南阿蘇村立南阿蘇西小学校での同教室は、元サッカー日本代表の中西永輔氏をメインコーチに迎え、146名の児童が参加して行われました。この日は、午前中の3・4限が1～3年生、午後の5・6限で4～6年生を対象に実施されました。メインコーチを務める中西氏の元気であいさつでスタートした教室では、まず体を動かすことから始め、徐々にボールを使った動きへと移っていきました。緊張気味だった児童たちも、思い切り体を動かす心地よさと中西氏のユーモアあふれる指導で、みるみる笑顔に変わっていきました。

教室終了後は、キリンビールマーケティング株式会社熊本支社長麻生芳彦が、同小の奴留湯雅士（ぬるゆのりひと）校長にサッカーボールやゴール、ピブスなどの備品を寄贈しました。指導を受けた子どもたちからは、「久しぶりにサッカーができてよかった」「中西さんのテクニックに驚いた」などの感想が聞かれ、最後は中西氏らコーチたちとハイタッチで、この日の頑張りを称えあいました。

コメント①

キリン株式会社 CSV 本部執行役員 CSV 推進部長 林田 昌也

子どもたちの表情もはじめは硬さが見られましたが、体を動かし気持ちが解放され、最後には皆さんがいい笑顔になっていたのが、とても印象的でした。キリングループでは、こうした被災地支援活動などを通じた社会貢献を、企業としての使命だと考えています。私たちが扱うビールや清涼飲料などの商品は、地域の皆さんに穏やかな日常があればこそ飲んでいただけるもの。1日も早く地域コミュニティの日常を取り戻していただくためにも、さまざまな支援を通じて熊本の皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。



コメント②

キリンビール株式会社 熊本支社長 麻生 芳彦

私も東日本大震災後に福島県で行われたサッカー教室に参加した経験があり、子どもたちの笑顔からとても元気をもらったことを覚えています。それだけに、今回「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環として、熊本でもサッカー教室を開けることを嬉しく思います。同プロジェクトの3つの幹の一つである「心と身体の元気サポート」を通して、熊本地震で怖い思いをした子どもたちや地域住民の方々が、少しでも笑顔と元気を取り戻せるような取り組みを、今後も提供していきたいと考えています。



コメント③

一般財団法人 熊本県サッカー協会 専務理事 北岡 長生 様

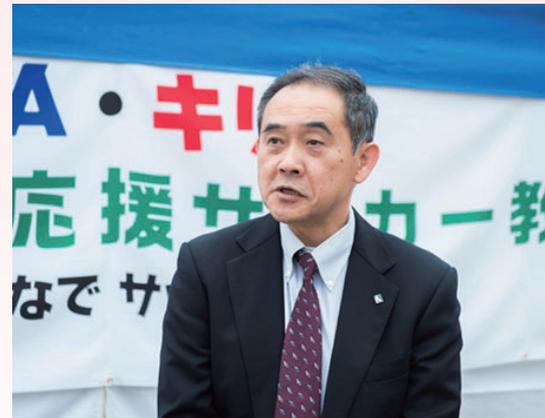
熊本地震以降も続く不安な生活の中で、元気をなくしている子どもたちのために、こうしたイベントを開いていただいた日本サッカー協会とキリングループに心から感謝いたします。また、快く受け入れてくださった益城町と南阿蘇村の4つの小学校にもお礼を申し上げます。これから熊本が復興への道を歩む中で、子どもたちの笑顔と元気は何よりの力になると思います。



コメント④

南阿蘇村立南阿蘇西小学校 校長 奴留湯 雅士 先生（ぬるゆのりひと）

熊本地震後、各種スポーツ大会なども中止が相次ぎ、子どもたちが思い切り体を動かして発散する場がなく、私たち教師も憂慮していました。今回のサッカー教室では、久しぶりに児童たちの歓声や笑顔が見られただけでなく、朝から自発的に運動場の落ち葉拾いをするなど、自主性も発揮されて嬉しく思います。このような機会を作っていただいた日本サッカー協会とキリングループには大変感謝しています。



コメント⑤

南阿蘇村教育委員会 審議員 財満 健典 様（ざいまけんすけ）

熊本地震から7カ月あまりが過ぎ、子どもたちは一見、元気を取り戻したように見えますが、まだまだ心には影響が残っています。そうした子どもたちが、スポーツで体を動かすことで少しでも元気になってくれればと思います。今回のサッカー教室の申し出を喜んで受けさせていただきました。行政では手の行き届かない部分を、企業がサポートしてくださるのは、とてもありがたいことです。今日の子どもの笑顔を見て、保護者も安心したのではないのでしょうか。



コメント⑥

公益財団法人 日本サッカー協会 マーケティング部 高野 正大 様

今回の「JFA・キリン 熊本復興応援 サッカー教室」で、個人的には初めて被災地支援活動に直接携わりました。運動場を元気に駆け回る子どもたちの笑顔に接して、少しずつ明るさを取り戻しつつあるのではと感じ、「この仕事をやって良かった」と実感しました。今後もキリングループの力を借りながら、こうした場を通して子どもたちにサッカーのさまざまな楽しみ方を伝えていければと思います。



コメント⑦

元サッカー日本代表 中西 永輔 氏

熊本地震後、初めて熊本に来ましたが、石垣などが崩れた熊本城を見て胸が痛みました。また、子どもたちの精神状態も心配していましたが、元気いっぱいサッカーに取り組んでくれて安心しました。限られた時間の中でも、やる気になった時の子どもたちの上達の早さには驚きました。これからもキリングループのサポートを受けながら、私たちがこうして被災地を回ることで、子どもたちに体を動かすことの大切さを伝えていければと思います。

